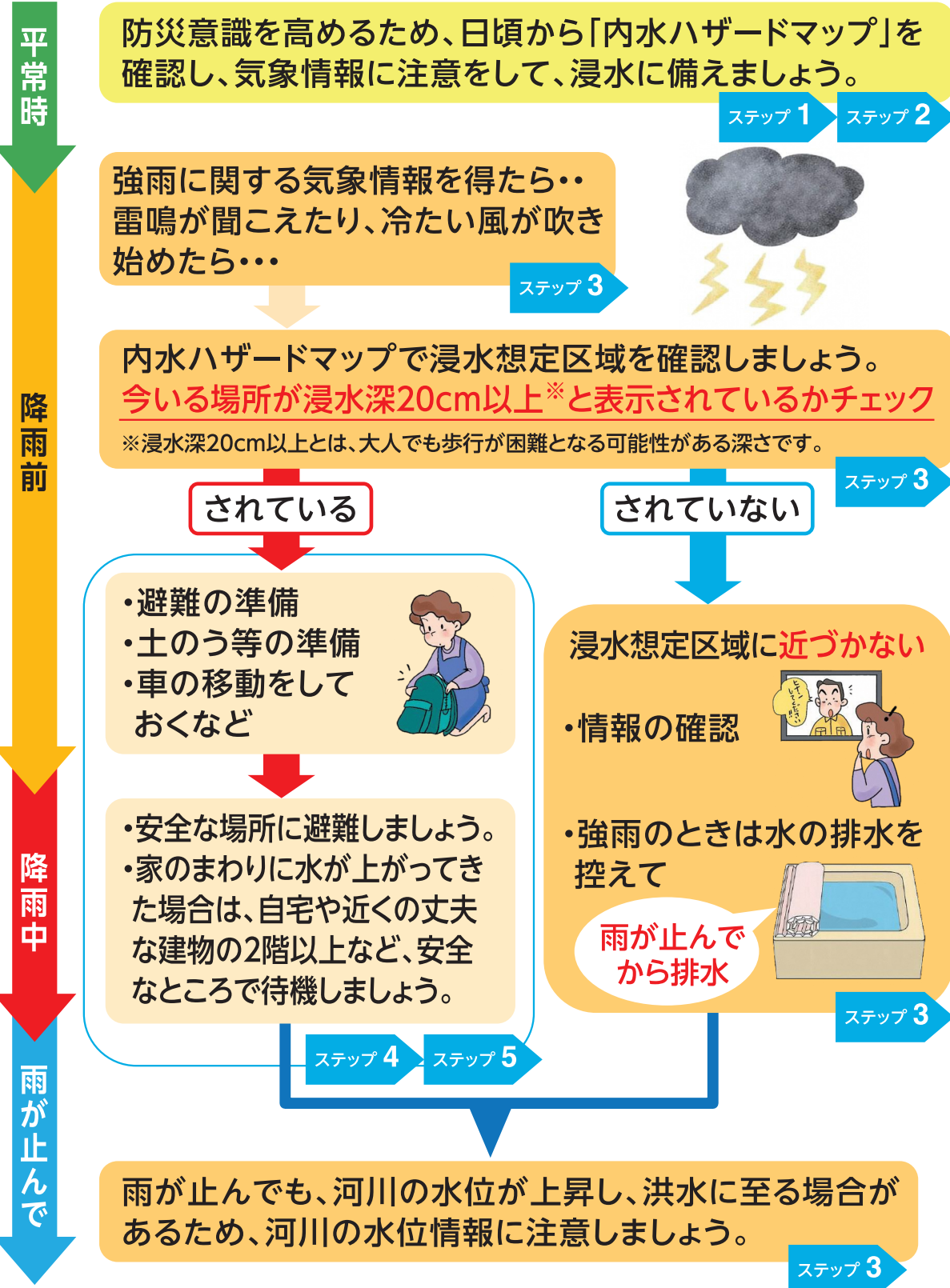


## 2. マップの使い方を確認しましょう



### ステップ1 防災意識を高める

## 3. 雨の強さと雨量の関係を知っておきましょう

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

	やや強い雨 (10~20mm)	強い雨 (20~30mm)	激しい雨 (30~50mm)	非常に激しい雨 (50~80mm)	猛烈な雨 (80mm以上)
予想雨量 (1時間雨量)					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような 圧迫感がある 恐怖を感じる
人への影響	地面から跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる		
屋内 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	道路が川のようになる		
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

**我が家の防災メモ** ※本マップの対象降雨量は1時間当たり71mmです。  
P48、49にも書き込み可能なページがあります。

### ■ 雨の強さと降り方から住んでいる地域の特徴 ■ 一時避難場所

例1：○月○日の豪雨では、家の前の道路で20cm程度水が溜まっていた。  
例2：一時避難する場所は、○○公園駐車場